

項目	観点	教科書名
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り組む内容の選択について	家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うために、どのように配慮されているか。	<p>新編 新しい家庭(2・東書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者教育と家庭科の見方・考え方の一つである「持続可能な社会の構築」を重視し、第4大題材で独立して扱い、消費者としての基本的な知識や態度が身につくように配慮している。(P36-43ほか) ・家庭科の学習に関係する伝統的な内容は、「日本の伝統マーク」を付けて取り上げ、伝統や郷土・地域に関する教育に配慮されている。(P18、27、46、48、52、53、61、69ほか) ・コラム「プロに聞く！」では、家庭科に関連する職業の人へのインタビュー記事を掲載し、キャリア形成に向けた取り扱いがなされている。(P27、42、52、61、101ほか) ・環境への配慮を生活のあらゆる面と結びつけて考え、実践できるように、随所に「環境マーク」とともに、具体的な内容を示している。(P21ほか) ・幼児や高齢者、障がいのある人々、外国人との関わりを通して、共生の視点に気付くことができるように配慮している。(P12、36) ・実践的・体験的な活動を促すように、座学に多くなりがちなところにも活動を設定し、様々な活動を通して児童の思考力・判断力・表現力が育成されるよう配慮している。(教科書全体)
2 内容の程度及び取扱いについて	生活の営みに係る見方・考え方を働かせるための工夫や主体的・対話的で深い学びの実現のための工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・全学習項目で問題解決的な学習が繰り返し行える構成(ステップ1 見つめよう→ステップ2 計画しよう・実践しよう→ステップ3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう)にしている。(教科書全体) ・各題材の最初に「家庭科の窓」を設置し、見方・考え方の視点を意識して、学習が進められるようにし、その視点を働かせて、各所に収載している活動を行うことで、深い学びを実現できるようにしている。(教科書全体) ・児童の発達段階に配慮し、日常生活に生かせる活動例や実習例を重点的に取り上げている。(P22、32、46、48、74、76、88、90、106、108、118、119) ・基礎技能として取り上げている「いつも確かめよう」は、単なる技能習得に終わらないように、実習とセットで取り上げ、実際の生活場面で生かせるように配慮している。(P16、33、75、136～145ほか) ・知識・技能の定着のため、学習の目標と評価を重視し、全ての小題材の始めに学習の「めあて」、終わりにそれに呼応した「ふり返ろう」を設けてこまめに学習をふり返り、学習内容が定着するようにしている。(教科書全体) ・生活の課題と実践を「生活を変えるチャンス！」として設定している。(P65-67、121、134) ・第3小題材「ステップ3生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」およびその「活動 深めよう」では、学習内容を生活に結びつけ、学習の中で、他者との交流を図り、日常生活の問題を見だし、解決できるようにしている。(P19、26、34、42、52、61、64、78、91、100、110ほか) ・各大題材の導入では、児童に身近な家庭や学校の場面を写真やイラストで大きく示し、自分なりの課題を持って学習に取り組めるように工夫している。(P12、36、54) ・防災教育について、コラム「日々の備え」で示している。(P34ほか)
3 内容の配列・分量	題材の構成や教材の配列にどのような特徴があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材の配分・分量は、字数、学期、学年配分や学期制などから見て、かたよりがなく、適切である。(年間指導計画案・学習指導要領との関連参照) ・学習内容、実習内容ともに、基礎・基本から応用へと児童の発達段階に応じて系統的に配列している。(P8～11、22、32、46、48、74、76、88、90、106、108、118、119、136～145ほか) ・長期休暇の前に、生活の課題を見つけ、解決に取り組む「生活を変えるチャンス！」を設けている。(P65～67、121、134) ・大題材の配列を組み替えることで、地域や学校の実態に応じた指導ができるようにしている。また、2学期制にも対応できるように配慮している。(目次、年間指導計画案・学習指導要領との関連参照) ・5学年で8題材、6学年では7題材が設定され、関連する内容をできるだけ同時期に配置して複式の年間指導計画が立てやすいように配慮している。(目次、年間指導計画案・学習指導要領との関連参照) ・食育に果たす家庭科の役割の重要性に鑑み、食の内容が系統的に繰り返し学習できるように配慮している。(P44、84、112ほか)
		<p>わたしたちの家庭科(9・開隆堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者教育の題材があるほか、消費者として考える内容には「消費マーク」を付し、丁寧に扱っている。(P58～65、92、133、134) ・伝統文化の内容には「伝統マーク」が付されており、日本の伝統的な文化についての配慮がなされている。(P49、50、52、53、57、77、103、106、109、125ほか) ・自分の住んでいる地域や日本各地の伝統文化など食文化に関する内容を知ること、児童が興味・関心を持ち、より学びを広げられるようになっている。 ・学習内容に関連する取り組みや仕事をしている人を取り上げ、キャリア教育に繋がるよう工夫されている。(P16、18、46、64、76、97、103、107、109、121、130) ・手順・段取りをプログラミングされた身の回りの電化製品について紹介されており、学習内容とプログラムされた内容のつながりについて理解が深まる内容となっている。(P140・141) ・いつ起こるか分からない災害に備えて、子供自身が災害への意識を持ち、実生活でできることを考え実践しようとする態度を身に付けられるようになっている。 ・男女の区別や障がいの有無にかかわらず、子どもから高齢者まですべての人が平等な関係であることを前提にして、記述や課題の設定・写真や図が工夫され、共生社会の形成に向けた取り組みがなされている。(教科書全体)
		<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードなどでコンテンツを利用することで、種類の詳しい説明が見られたり、実習の手順を確認できたり、知識や技能を身に付けられるようになっている。 ・①気づく・見つける→②わかる・できる→③生かす・深めるの順で学習を進めることによって、課題解決的な学習に取り組め、全体を通して一貫している。(P3「この教科書の見方・使い方」、P6・7) ・クローバーマークで生活の見方考え方を4つの視点で示し、すべての題材で統一することで取り組み方の道しるべになっている。(P8,10,20・・・) ・児童同士で対話をし、意見を交換できるような学習活動を多数取り入れており、児童同士や家族・身近な人たちとの会話を通して考えを明確にするなど児童自らの考えを広げて深められるような仕組みになっている。(P29、33、69、76、86、102、108、111、124、130ほか) ・実習の際の計画を立てる場面やレポート作成、自分の考え・意見の発表などの場面が学習過程の各所に設定されている。(P18、29、35・36、42、60、75、85・86、93、95、113、121・122、129、134ほか) ・課題に取り組む場面やふり返り場面などは、表や意見交換場面が随所に示されており、児童が自分の言葉で表現できるように配慮されている。(P33、69、102、108、111ほか) ・調理手順の並び替えクイズや給食に使われている食品の食品群分類等、授業にタブレットを活用できる学習コンテンツが充実している。 ・野菜・果物の旬や掃除の工夫、商品選択の情報となる様々なマーク等、学びを広げたり、深めたりする各種の資料PDFを収録している。 ・ステップ3の「生かす・深める」では児童がさらなる課題に向けて主体的に取り組めるようになっている。(P18、27、33、36、47、56、65、69、73、76、87、93、97、102、108他) ・実践的・体験的な活動を通して、話し合いの活動や思考する活動、意見を述べる活動など様々な言語活動ができるようそれぞれの題材に配置されており、学んだ知識・技能を生活に生かせるよう工夫されている。(P27、29・30、35・36、96、102、108、116、124、130ほか) ・防災についての特別ページが設けられていたり、防災に関する事項には「防災マーク」が付いてあったり、防災教育について十分に配慮されている。(P21、33、51、76、128、129、131、144・145、147ほか) ・小学校で学んだ学習をふり返り、中学校の学習に生かせるよう中学校の学習内容が写真やイラストでわかりやすくまとめられている。(P136・137) ・各題材の終末に「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」のコーナーが設定されていて、題材のめあてを達成できたか確認し、実生活で実践しようとする態度を育てやすい。(P9,19,27・・・) ・食物アレルギーや食中毒防止に触れ、注意喚起を徹底している。また、学習コンテンツに食物アレルギーの詳しい説明を紹介したり、安全なじゃがいもの見分け方を明記したり自分事として安全への意識を高める工夫をしている。(P15-17)
		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の題材内容の分量は児童の発達段階に沿って適切に配列されている。(教科書全体) ・5学年で11題材、6学年では9題材が設定され、5学年はスモールステップで反復学習をして基礎・基本の定着を図るために題材が設定されている。6学年は5学年で学習した技能も生かした9題材が設定されている。(教科書全体) ・スモールステップの学びを生かし、基礎的・基本的な知識・技能を着実に習得できるよう配列されている。(P14～19「ゆでる調理」、22～27「手ぬいの仕方」他) ・題材が細かく区切られているので地域や学校の事情等によって順序の組み換えがしやすく工夫されている。 ・2学期制にも対応できるようになっている。(題材一覧・配当字数参照) ・持続可能な生活を絡めて5年生の学習を振り返り、6年生の学習につなげていく流れがスムーズで授業展開しやすい。(P78、79) ・「2年間の学習を中学校につなげよう」(P136・137)として、中学校ではどのような学習をするのかに触れることで中学校での学習をイメージしやすい。

<p>4 表記・体裁</p>	<p>誰も見やすく、使いやすくするため、どのような配慮がされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての大題材の導入に、タイトル、導入発問、学習の流れ(ステップ1～3のタイトルを並べて示す)を示し、学習の見通しが立てやすいよう工夫している。(教科書全体) ・判型はA4判を用い、一つの実習を見開きで見ながら実習できるレイアウトになっている。小学校5年以降で学習する常用漢字には見開きごとにふり仮名を付している。また、専門的な用語(衣食住に関する独特の言い回しなど)については、脚注などで児童が理解しやすい簡潔な表現で解説を補足している。(教科書全体) ・他教科との関連を示すマークで、道徳教育と関連する内容を示し、児童の意識が高まるよう配慮している。(P80、128ほか) ・小学校英語と関連して、家庭科に関係のある英単語を脚注に掲載し、次ページに日本語を示している。(P13、15、7ほか) ・巻頭に衛生・安全を特集した「いつも確かめよう」があり、本文中には、「安全マーク」を付して、注意喚起をしている。(P16、21、巻頭など) ・デジタルコンテンツの活用が有効な内容に[Dマーク]を示し、QRコンテンツを用意し、ICT化への取り組みや情報教育に配慮されている。(P11、22、30、31) ・基本的な用語を十分理解できるよう、家庭科で扱う重要語句を太字で示している。(教科書全体) ・色覚の多様性への配慮、独自に開発したUD教科書体の採用、様々な発達特性に配慮(形成の使用や背景の色の工夫など)、ユニバーサルデザインが実現されている。(教科書全体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材の学習内容と環境を関連づけて取り扱い、実践的態度が身につけられるように細かい配慮がなされている。環境に配慮する視点の箇所には「環境マーク」が付されている。(P11、13、14、15、19、26、30、35、63、78・79、90、91、92、109、122、144、134ほか) ・実習上の安全の徹底を図るため、紙面の随所で「安全マーク」で強調し、写真やイラストでわかりやすく例示されている。(P11、12、13・・・) ・各題材の他教科との関連する内容には「関連マーク」を付している。(p11～16、21、28、34、48～50、54、67、72、85、87、92、100、105、107ほか) ・各ページのページ番号の横には、家庭科に関する語句の英単語が記載されており、外国語等との関連も配慮されている。(教科書全体) ・様々な年代の人やいろいろな家族を写真で示しており、インクルーシブ教育や多様性の視点が含まれている。(教科書全体) ・題材の最初のページには大きな写真やイラストなどを通して題材の見通しをもてるようになっている。(各題材の最初のページ) ・一人一台端末やインターネットを使用して情報収集したり学んだ学んだことを発表したりして活用する場面が多数掲載されており、教育のICT化への取り組みや一人一台端末の活用についての取り組みが十分に示されている。(写真、イラスト、動画コンテンツが充実し、野菜の切り方や調理の手順、ミシンの使い方等視覚的にわかりやすく示している。) ・判型がAB判からA4判になったことで、写真やイラストを大きくしたり、紙面をゆったりと設計したりするなど、よりダイナミックに分かりやすい紙面の工夫がされている。 ・特別支援教育の視点を取り入れ、ユニバーサルデザインフォントや見やすい色使いの他、調理実習や製作等の手順は見開きで大きく横流れのデザインで統一して、見やすい工夫がされている。(教科書全体)
--------------------	---	--	--